

木曾川用水総合管理所 「ヤギさん除草隊の

Part.2 効果検証結果」 のりめん 調整池堤体法面の除草作業



このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

「ヤギさん除草隊」とは

「ヤギさん除草隊」は、岐阜県美濃加茂市の緑地の維持管理をきっかけに結成されました。美濃加茂市では、里山千年構想の一環として、平成二十五年度よりヤギを放牧することで雑草等を除去し、かつ里山にふさわしい環境および景観を創出(里山再生)することを目的とした産官学連携※1による共同研究が進められています。

近年、水資源機構(以下「機構」という。)が発注する除草工事は、労働者の減少や高齢化により、受注業者の確保が難しい状況となっていることから、平成二十八年度から機構も「ヤギさん除草隊」の取り組みに参画し、ヤギの除草による公共施設等の維持管理について、その有効性及び経済性の検証を目的として、実証実験を進めています。

※1(株)FRUSIC ヤギを飼育管理している農業生産法人、美濃加茂市、岐阜大学



堤体の雑草をはむヤギ

ヤギ除草の実証実験

ヤギ除草による効果検証を行うため、美濃加茂市にある機構が管理する蜂屋調整池と上飯田調整池(共にアースダム)をフィールドに実証実験を行いました。実験方法は、調整池堤体下流法面をヤギの除草ヤードと肩掛式草刈機ヤードに分割し、植生の変化や除草費用の経済性について比較検証するものです。比較検証結果の概要は左表のとおりです。

項目	検証結果(肩掛式草刈機との比較)
機能・景観	除草後の残存草量が多くムラができる。機構が行う調整池の安全点検に支障なし。特に景観への配慮が必要な場合は、草刈機による補助刈りが必要となる。
環境保全	二酸化炭素の排出が削減され、エンジン音が全くなくなる。ただし、排泄物とその臭気に注意を要する。
経済性	肩掛式草刈機による除草作業は、「草刈り・集草・運搬・処分」から構成されるが、ヤギ除草では、その全てを必要としない。ヤギ自体が一つのパッケージとなっており、コスト面でも有利となる。ただし、放牧用の柵などの仮設備が必要となる。
安全性	急斜面でも除草が可能。肩掛式草刈機では、労働災害発生の可能性がある。

ヤギ除草の今後の取り組み

ヤギ除草の実証実験の結果、施設の維持管理面から、その有効性が確認されました。また、経済性についても、特に景観の

きれいさを求めなければ、ヤギの除草の方が肩掛式草刈機による除草よりも安価となることがわかりました。

今後、労働人口の減少や高齢化社会を迎える中において、労働力の不足を補うヤギ除草は大きな可能性をもっています。また、ヤギが雑草をはむ姿は愛らしく、地域の方々に癒しの場を提供できるものと考えています。

今年も、六月から十月頃迄の間に蜂屋調整池と上飯田調整池において「ヤギさん除草隊」の出勤による除草作業を行います。出勤日は水資源機構木曾川用水総合管理所のホームページ「うるおい木曾」でご紹介します。



上飯田調整池のヤギ除草の状況
堤体の左側：ヤギによる除草
右側：除草前(肩掛式草刈機ヤード)

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/index.html>